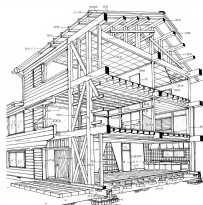


日本木材青壮年団体連合会 「木づかいCO2固定量認証制度」講習会



木づかいCO2固定量認証制度

- ① はじめに「講習講座の全体説明」 井上雅文
- ② 「木材利用の意義、活用方法、薦め方」
～木材の心理的寿命～ 仲村匡司
- ③ 「木材利用による地球環境貢献効果」 井上先生
- ④ 「木づかいCO2固定量認証制度の実務」 瓦野光貴
- ⑤ 試験



◇東京大学・アジア生物資源環境研究センター
環境材料設計学研究室・准教授
井上雅文
masafumi@anesc.u-tokyo.ac.jp

日本木青連「環境憲章」および「環境行動計画2010」

《環境憲章》

2010年6月の全国会員大阪大会において制定された。

《理念》

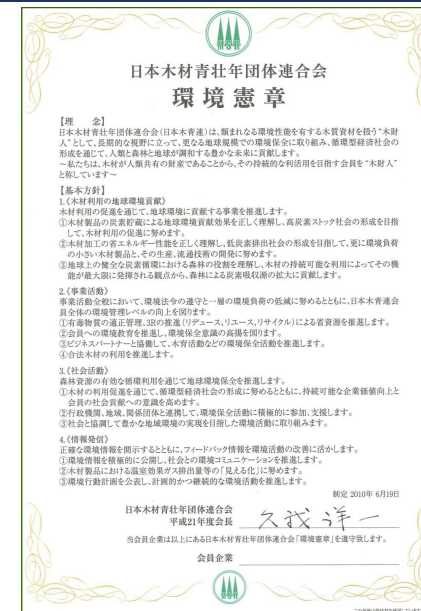
「日本木青連は類まれなる環境性能を有する木質資材を扱う“木財人”として、長期的な視野に立って、更なる地球規模での環境保全に取り組み、循環型経済社会の形成を通じて、人類と森林と地球が調和する豊かな未来に貢献します。」



具体的な行動の一つとして

木づかいCO2固定量認証制度

東京大学アジア生物資源環境研究センター環境材料設計学研究室 井上雅文



本制度の概要と目的

《概要》

樹木が二酸化炭素(CO2)を吸収して生産される木材の炭素(C)貯蔵(固定)機能による地球環境貢献効果を正しく普及し、日本国内における建築物等への木材利用促進をはかるため、国産材・外国産材に問わず木材の利用量に応じた二酸化炭素吸収量および炭素固定量を認証する制度。

《目的》

本制度により、日本国内における木材の積極的な利活用を誘導・促進することで二酸化炭素の吸収・炭素の貯蔵(固定)をはかるとともに、木材需要拡大と国内などの森林整備(森林再生・林業再生)の促進による二酸化炭素吸収量の増大をはかり、地球温暖化防止に貢献することを目的とする。具体的には、以下の三つの目的を掲げるものとする。

- ① 日本国内の木造建築物における木材利用による二酸化炭素の吸収・炭素の貯蔵(固定)の促進。
- ② 日本国内の施設における木材利用による二酸化炭素の吸収・炭素の貯蔵(固定)の促進。
- ③ 国内外の森林整備促進による二酸化炭素吸収量の増大と地域社会および林業の活性化。

- 木青連の指導的立場にある者は、木材利用促進の意義を明確に理解し、自身が事業活動に活用できるとともに、木青連一般会員および非会員にこれを伝えられること。
- 木青連会員全員は、木材利用促進の意義を理解し、これをもって需要拡大に貢献できること。

木材需要拡大

東京大学アジア生物資源環境研究センター環境材料設計学研究室 井上雅文

日本木材青壮年団体連合会 「木づかいCO2固定量認証制度」講習会



木材利用による地球環境貢献効果

- ① 世界的に地球環境問題が木材利用促進を牽引していることを理解していること。
- ② 日本政府の木材利用促進政策を理解していること。
- ③ 地球温暖化の現象、機構、緩和策などを理解し、地球の炭素循環を理解していること。
- ④ 光合成など、樹木、木材利用と地球の炭素循環の関係を理解していること。
- ⑤ 木材利用の地球環境貢献を理解し、第三者に正しく説明できること。
 - 木材利用の森林整備効果
 - 木材利用の省エネ効果
 - 木材利用の炭素貯蔵効果 最重要項目
- ⑥ その他、木材利用促進の意義を説明できること。
- ⑦ 木青連環境憲章を正しく理解し、木青連の会員および非会員に説明できること。
- ⑧ 木青連および木材産業界が、木材関連事業を通じて地球環境に貢献していることを木青連の会員および非会員に伝えられること。
- ⑨ 上記の知識を各社の事業推進に活用し、木材需要拡大に貢献できること。

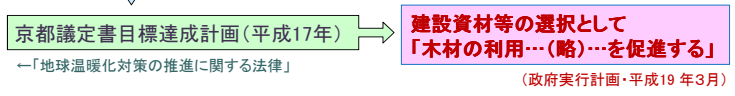
①世界的に地球環境問題が木材利用促進を牽引している

IPCC第4次評価報告書(第3作業部会)

スターン・レビュー → 林業部門：低コストで、排出量の削減及び吸収源の増加の両方に大きく貢献することが可能。
「気候変動の経済学」

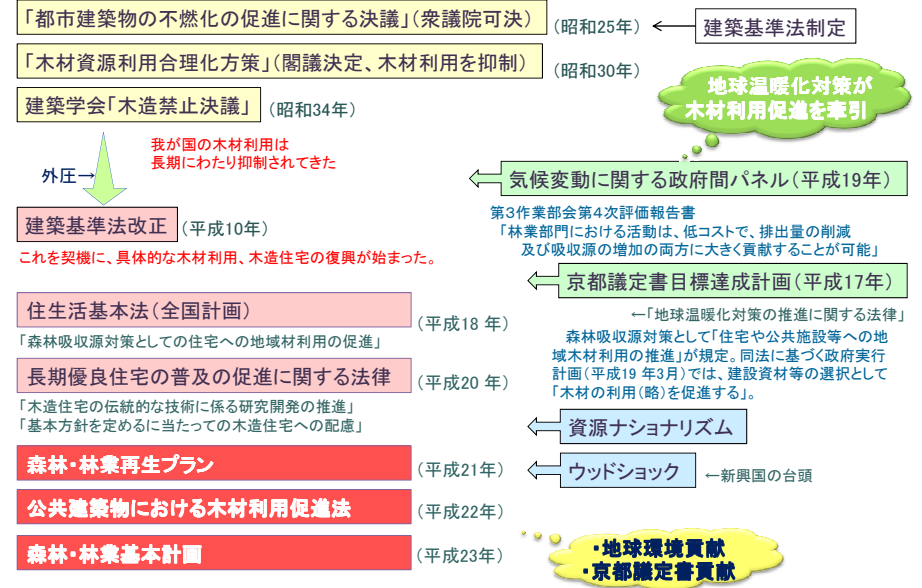
《森林分野における緩和策》 IPCC AR4WGIII Technical Summary

カテゴリー	緩和策	効果	
森林面積の維持・増加	新しい森林の造成	吸収増大	→ REDD
	森林減少、土地利用変化の防止	排出削減	
林分レベルでの炭素蓄積の維持・増加	集約的森林経営、施肥	吸収増大	→ FM
	森林劣化抑制	排出削減	
ランドスケープレベルでの炭素蓄積の維持・増加	持続可能な森林経営	吸収増大	→ FM
	森林に及ぼす撹乱抑制	排出削減	
木材製品中の炭素蓄積の増加、燃料の転換	製品の炭素蓄積増加	吸収増大	→ HWP 炭素貯蔵
	バイオマスエネルギー利用増加	排出削減	
	高エネルギーを必要とする製品の代替	排出削減	

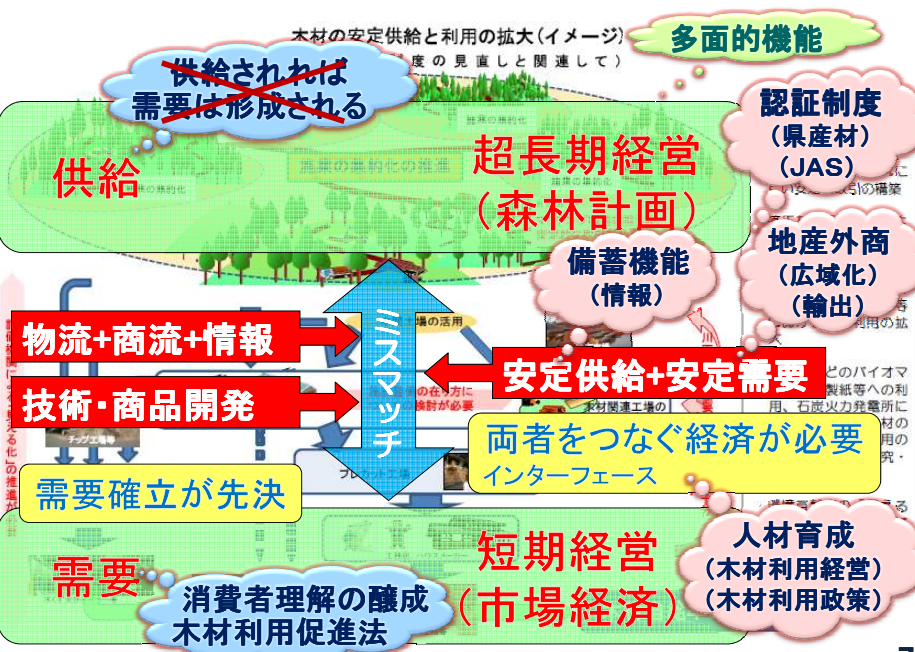


東京大学アジア生物資源環境研究センター環境材設計学研究室 井上雅文

②日本政府の木材利用促進政策



東京大学アジア生物資源環境研究センター環境材設計学研究室 井上雅文



東京大学アジア生物資源環境研究センター環境材設計学研究室 井上雅文

公共建築物等における木材利用促進法



東京大学アジア生物資源環境研究センター環境材設計学研究室 井上雅文